

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
35	ヤマザキ動物看護大学	産業動物学	古川 力 動物看護学部 教授	2	前期	木	15	16:30～18:00	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

わが国で飼育されている主な産業動物は牛・豚・鶏である。これらの動物の役割は食料の生産にあり、我々の生活と密接に関係している。これら動物の存在意義について理解するとともに、生物を利用した食料生産の仕組みを理解できるようになることを目標とする。

【授業の概要】

産業動物は家畜と言われるものの中でも人々の衣食住、特に今日では食に大いに貢献している動物である。これらの動物は野生種から人が改良を加えてきたものであり、その成立の歴史、役割の変遷をまず説明し、次に各種動物の品種とその特徴、能力の改良方法、繁殖と増殖方法、栄養給与方法などを紹介する。また、生産に重要な影響を与える病気と防疫対策、排泄物の処理方法などについても述べる。

最後に農業の中での産業動物の位置づけや産業動物を用いる経営と、現在産業動物に生じている問題点をあげ、今後の産業動物のあり方について考える。

【授業内容】

1. 産業動物とは、産業動物のなりたち
2. 産業動物が人の生活に果たす役割
3. 産業動物飼育の世界と日本における状況
4. 豚について
5. 鶏について
6. 肉牛について
7. 乳牛について
8. 我が国では少数が飼育されている、あるいは全く飼育されていない産業動物について
9. 産業動物の改良について
10. 産業動物の繁殖について
11. 産業動物の栄養と飼料について
12. 産業動物の衛生について
13. 産業動物の排泄物について
14. 産業動物の生産物と飼育経営について
15. 産業動物の問題点と将来について

【成績評価方法】

授業ごとの小テスト(40%)、試験(レポートを含む、60%)により総合的に評価する。

【教科書】

教科書は特に指定しない。講義時に資料を配布する。

【参考書、教材等】

授業時に指示する。

※ この授業は、4/9(木)が初回です。